

全国市民オンブズマン大会

白ワイン・赤ワイン

津田 正敏

神戸空港から大会会場の神戸学院大学へ直行しました。大学の建物は近代的でありながら各校舎への移動の屋外廊下は、欧風のカトリックの修道院のような造りでした。その移動廊下は、まるで修行僧が聖書を唱えたり、瞑想に耽ったりする回廊のようでした。建学者たちの願いが伝わりました。

泉田 元子

第22回 全国市民オンブズマン 兵庫大会に参加して

全体会・懇親会を終えて、イタリアンレストランで夕食をとりました。いつものように白ワインを注文し、舌づつみを打ちました。ところが、小野寺先生から「急用がでたので、明日の分科会の発表をだれか替わって欲しい」と言われ、赤ワインをどんどん注ぎ込まれました。翌朝は、いつもより一時間早起きし、発表のための要点のメモを作り、分科会の発表に臨みました。発表後、「仙台市議会議員の通信簿」は参加者の方々が欲しがり、私の書き込んだ一冊もあげてしまいました

大型台風接近中の9月5日、6日オンブズマン全国大会が神戸学院大学ポートアイランドキャンパスで開かれた。今回の大会で真新しい企画は、『政務活動費』うつつこはこんなひびどいコンクール2015』
兵庫県議会野々村議員の号泣会見でいきなり注目を集めた「政務活動費」二日目の分科会で事前にエントリーされている18件のその杜撰な使



い方を各オンブズマンごとに「うつつこ」のひびきを観客にアピールしてランキングを競うと言うおもしろい指向でした。
堂々の一位は市民オンブズマン徳島がエントリーした徳島県議会の4件、その中身は「数字を書き換える偽造領収書作成」、「白紙領収書自作」、「商品券や子供服を事務用品として計上」などなど、かの野々村議員並みの大胆この上ない使いっぷり！二位は市民オンブズマン香川がエントリーした香川県議会の二件、活動し始めて間がないオンブズ香川は小人数の弱小団体でここまで洗いだしたことを評価してほしいと力強くアピールしていた。宮城県議会は三位に入る快挙？でしたが私

的には仙台オンブズが扱うものがどこより一番ひどいと思っていただけに上には上があるもの驚くばかりでした。ではどのようにすれば改善されるのかとの議論になるわけですがやはり今は地道に監視していくほかに手だてはないと言う結論。だが監視して訴訟まで持ち込めるには時間と経費がかかりすぎ余裕のない団体ではなかなか難しいというのも現実。私もさんざんパソコンへの打ち込み作業を担当しましたが気が遠くなるほどの量の領収書との戦いでした。これさえなくなればどんなに楽か知れませんが。全国的な流れとしてネット掲載の方向に向かってきて

いるのはたしかです。領収書をホームページに載せている議会も徐々に増えて来ているようです。極めて進歩的ではない宮城県議会、仙台市議会がネット掲載をとりいれるには明朗を良しとせんが一日も早くすべての会計帳簿、全ての領収書のネット掲載を私は望んでおります。これは全国各地のオンブズマン活動をしている全員の希望でもありそしてこの第22回全国市民オンブズマン兵庫大会、大会宣言は「議会のホームページに政務活動費会計の一切をネット公開する」を宣言の最後の最後に付け加えることに決まりました。

議会ウォッチャー報告

選挙を経て、 仙台市議会は…

野田百合子

立候補者の減少で、始めから投票意欲がそがれた今回の市議選。その大きな課題を残し、「第3回定例会」が開催されました。

発言力の強かった長老議員達の引退も後押ししたのか、長らく二つに分かれていた会派が合流し、「自由民主党」22名の最大会派が誕生。代表質疑第一声では、「国政を市政に持ち込むべからず」と釘を刺す場面も。

しかし、現政権下での政策強行の数々は、私達の日々の暮らしのみならず、生き方まで影響を及ぼしかねず、果たして、地方議会はそのまま議論を交わさずいってよいのでしょうか。現に、国会化が露骨になり始め、危惧の念を抱かざるを得ません。

学級崩壊寸前と言われた仙台市議会の議会改革を目的に発足した「議会ウォッチャー仙台」ですが、前記の問題をどのように評価の対象として行くべきか、慎重さが求められます。各会派・個人の主義主張を肯定或いは否定することに繋がり、公平性を逸脱しかねないだけに対応の難しさを痛感し

新たな問題を前にし、これまで以上に注視すべく気を引き締めた「ウォッチャー」になりそうです。

新議会の現況

上原 仁

8月の選挙で新しい議員が入り市議会がスタートした。しかし会派の構成が選挙前とは変わり自由民主党が22名の大会派となり公明党を加えると、市議会の過半数を占め、国会の体制に酷似した構成と成りました。

新議長は議長選挙の折、各会派と協議して行く事を約束しながら、常任委員の委員構成の時は、共産党を除き協議会を開き、各常任委員会の構成は此の様に成りましたと自由民主党と市民フォーラムの幹事長が持参したと聞きます。その為に共産党は常任委員会の委員長・副委員長の選挙に参加したものの為に、同会派が何故此の様に成ったのか議長に申し入れをし、面談の折の議長の答弁が「貴会派は立ち位置が違ひ野党だから」と発言したと聞いて居ます。

私は本来地方議会は、二元代表制民主主義で有り、議長の発言が事実なら

驚きとため息!!
生の議会を
ウォッチ!

議会ウォッチャー・仙台

仙台市議会傍聴をとおして、議会を変える活動を行っています。一度体験してみたいという方も大歓迎。ぜひご参加ください。お問い合わせは事務局まで。

【次回例会のご案内】

偶数月の第一火曜日

宮城地域自治研究所

(朝市ビル3階)

次回は12月1日(火)です

賑やかに過ごしたいと思えます。ふるって御参加ください。若干のお飲物などご用意しますが、持ち込みは大歓迎です。

議長の資質に疑問を感じます。

それに10月19日の決算特別委員会での教育費などでは、いじめの問題や教科書選定の経緯などを聞くだけで有り、昨年の委員会に取材に来た地元紙の記者があまりの議会の状態に驚いた事を思い出しました。

今迄よりは、良く成るかと思っただけが質問の内容が低く成ったと感じる。これでは議会改革など不可能の感が深い。

「本当に必要なその政治費」

仙台市民オンブズマン・フォーラム

(せいかつひ)

9月27日、仙台弁護士会館において仙台市民オンブズマン・フォーラム「本当に必要なその政治費(せいかつひ)」が開催されました。かつて改革を約束した宮城県議会の政務調査費の平成24年度の支出を調査したところ愕然とするような結果が出たことからそのことを発表するために企画されました。

フォーラムでは仙台市民オンブズマンの島山事務局長が「政務調査費

とは」の解説を行ったうえで「宮城県議会の政務調査費の支出について」調査した詳細を明らかにしました。

玉くし料や初穂料としての支出、仙台市近郊の高級旅館での泊研修など納税者としては納得いかない支出があることがわかりました。

パネル・ディスカッションでは、全国の「あきれる議会」の紹介もあり、政務調査費の支出状況をチェック

タイアップグループ 中田美智子

クする「しくみ」が必要なることを痛感させられました。最後に、宮城県議会、仙台市議会をはじめすべての政務活動費制度を持つている議会に対し、速やかに、

①収支報告書、②活動報告書(政務調査研究について具体的に記載した報告書)、③出納簿又は会計帳簿、④領収書および支出伝票等の資料をインターネット上で公開するよう

10月25日に行われる宮城県議会議員選挙を前にしてタイムリーな企画でした。もう少し宣伝し参加者を募ればよかったです。